



8月5日(火)の16時から、神社・寺院、教会が宗派の枠を超え一斉に鐘や太鼓を鳴らし平和を祈ります。



### 前橋空襲一斉慰霊

家族や親族などで、空襲で死した人の写真を持っていく人は、情報提供をお願いします。一枚の写真が戦争の記憶を語り継ぐ大切な手掛かりとなります。

●空襲で死した人の写真提供を  
前橋空襲と復興資料館は、慰霊の場としての役割も担っています。慰霊のコーナーでは、空襲殉難者の名前を掲示。遺族から提供された写真や遺品なども展示しています。

●空襲で死した人の写真提供を  
前橋空襲と復興資料館は、慰霊の場としての役割も担っています。慰霊のコーナーでは、空襲殉難者の名前を掲示。遺族から提供された写真や遺品なども展示しています。

### 平和への祈り込め

文化国際課 ☎027・898・6992

過去の記憶と平和への願いを  
未来へとつなぐ

## 前橋空襲と復興資料館が開館



場 所：昌賢学園まえばしホール  
開館時間：10時～17時（最終入館は16時30分まで）  
休 館 日：火曜（祝日の場合は翌平日）、年末年始 ※8月5日は開館  
入 館 料：無料

前橋空襲と復興の歩み、そして平和を願う市民の思いを後世へ継承するため、「前橋空襲と復興資料館」を今年4月に開館。館内は「開館までのあゆみ」「資料でみる戦争とくらし」「前橋空襲」「復興」「慰霊」「図書室」の6つのコーナーで構成されています。戦争体験者が少なくなっていく今、非体験者が語る公的資料館としての役割を担い、体験者の声を記録し、語り継ぐ拠点として歩み始めました。

### 前橋駅近ミュージアム 歴史探検ラリー

文化国際課 ☎027-898-6992

ヒストリア前橋（表町二丁目）と前橋空襲と復興資料館を巡る体験型イベントを開催します。それぞれの受け付けでワークシートを受け取り、2つのミュージアムを巡りながら、展示をヒントにワークシートの問題に挑戦。回答を記入し、受け付けに提出してください。両施設の参加者は、景品が当たるくじ引きができます。

時 8月31日(日)まで、10時～17時（最終入館は16時30分）

休 館 日＝〈ヒストリア前橋〉8月は全日営業〈前橋空襲と復興資料館〉火曜。前橋空襲があった8月5日(火)は、特別開館します

対 小中学生



〈A賞〉ヒストリア前橋オリジナルタンブラー



〈B賞〉ころんとンハンドタオル



〈C賞〉ヒストリア前橋オリジナルしおり

### 8月5日はまえばし平和祈念の日

共生社会推進課 ☎027-898-6517

#### 平和への祈りを込めて黙祷を

戦争で亡くなった人たちの冥福を祈り、空襲や原爆投下の時刻に黙祷をささげましょう。

時 〈前橋空襲〉8月5日(火)22時30分〈広島原爆投下〉6日(水)8時15分〈長崎原爆投下〉9日(土)11時2分

#### 平和を考えるワークショップ

平和について考えるワークショップを開催します。終了後に、前橋空襲と復興資料館を見学します。

時 9月13日(土)14時～16時

場 昌賢学園まえばしホール

対 小5～中2、20人（抽選）

申 8月22日(金)までに二次元コードのホームページで



#### 今こそ過去の記憶と向き合うとき

80年前、前橋の街は炎に包まれ、多くの命が失われました。焼け落ちた校舎、熱風に包まれた防空壕、家族を想い続けた兵士……。戦争体験者が少なくなつた今、その記憶を受け取り、伝えていく取り組みも広がっています。平和はただ願うだけではなく、過去の事実を知り、共に考え、日々の暮らしの中で育んでいくもの。戦後80年の節目に、まずは知り、過去と向き合うことが、平和な未来への一歩となります。



前橋駅前広場の戦災復興記念塔（昭和35年頃）

## 市民の力で資料を発掘 地域の戦災を語り継ぐ場に

### 設立の経緯

戦後70年を迎える少し前から、「前橋空襲を風化させてはいけない」という市民の声が上がり、山本市長（当時）の「歴史文化遺産を大事にしたまちづくり」の方針のもと、戦争を体験者から非体験者が語り継ぐあり方を模索した結果、市民の熱意と市長の英断により、市による資料館の設置が決定しました。

### 資料と展示に込めた思い

市民の協力のもと、防空監視哨の写真や空襲に備えて行われた家族会議や戦災医療措置会議のメモなど、新たに発掘された貴重な資料が集まりました。展示では、昭和39年に市が編纂した『戦災と復興』の内容を分かりやすく伝えるため、市民の証言を「虫の目」（地上の視点）、アメリカの公文書を「鳥の目」（上空からの視点）として対比。前橋空襲の実像を立体的に理解できるよう工夫しています。また、日本各地で地震や風水害による地域社会の

崩壊が起こっているため、「立ち上がる力」を記録・共有することは現代にも必要だと考え、「復興」の展示内容も充実させました。そして、前橋空襲を風化させないために空襲殉難者名を記しました。

### 平和を考える拠点に

前橋空襲は、戦争で一夜にして前橋が消滅したと言っているほどの出来事でした。戦争や平和を考えると、広島・長崎・沖縄とともに前橋空襲などの地域の視点から考えることも重要です。資料館が前橋空襲を通し「平和を続けるのはどうすればいいか、常に考える場」になることを期待しています。

前橋空襲と復興資料館検討委員会委員長

手島仁さん（下佐鳥町）

